

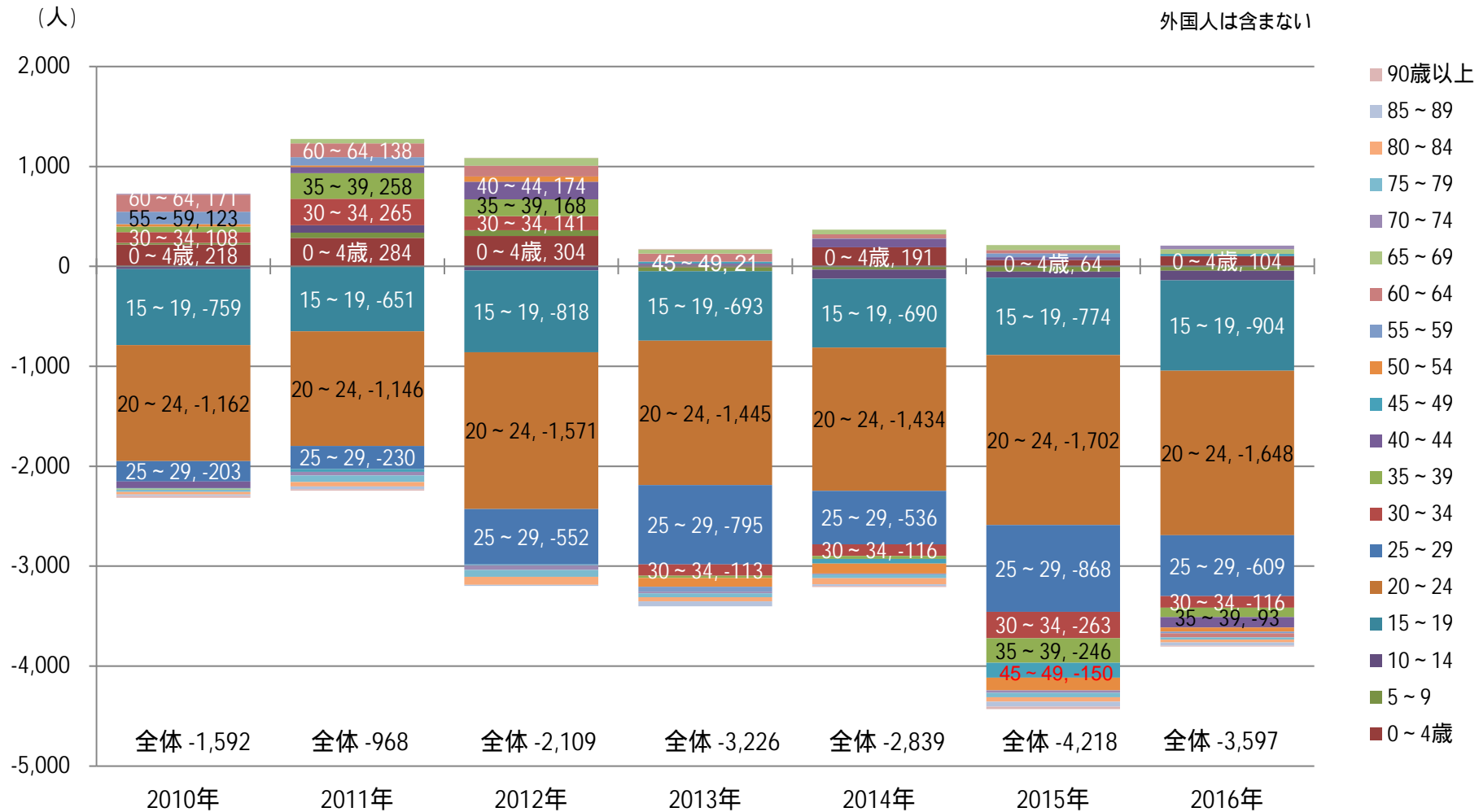


高等教育機関との連携による みえの地方創生について

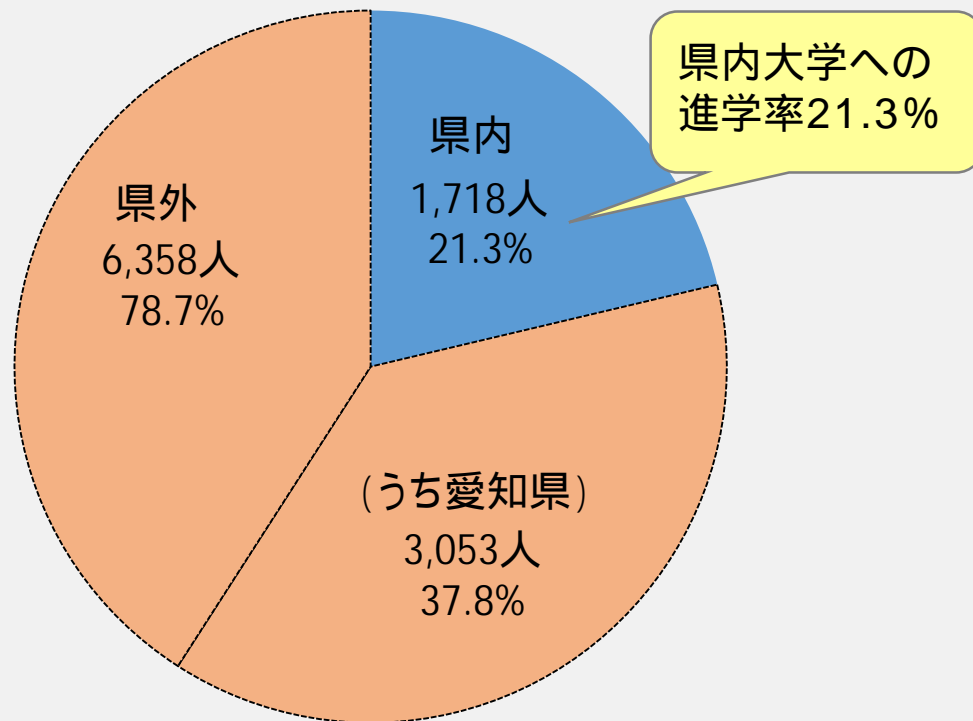
平成29年2月6日

三重県

年齢階級別の人口移動の状況(三重県)

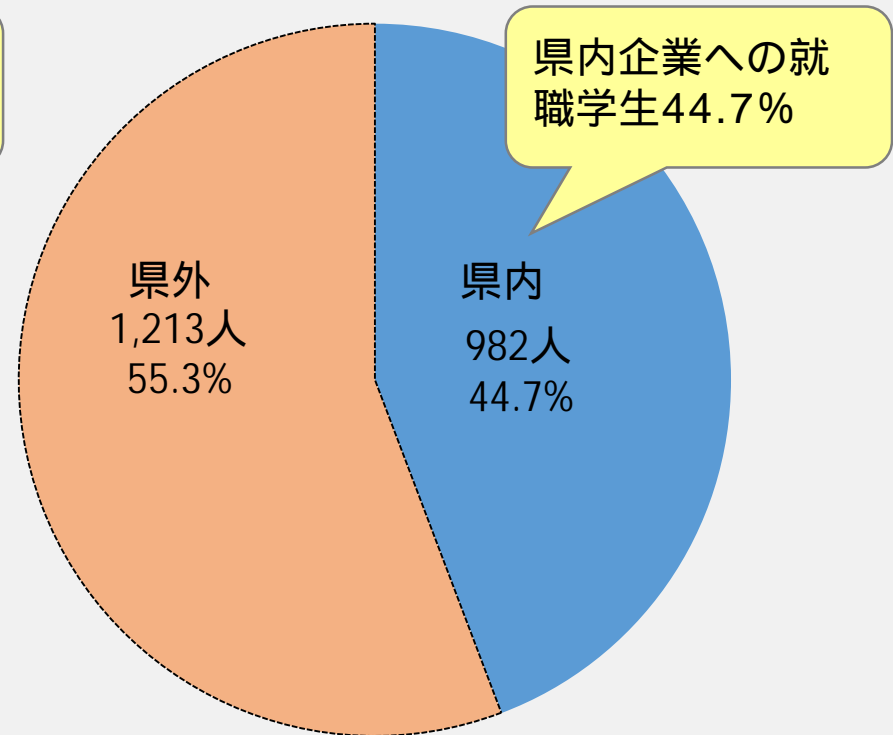


平成27年4月に大学に進学した
県内高校卒業生のうち、県内大学
に進学した者の割合



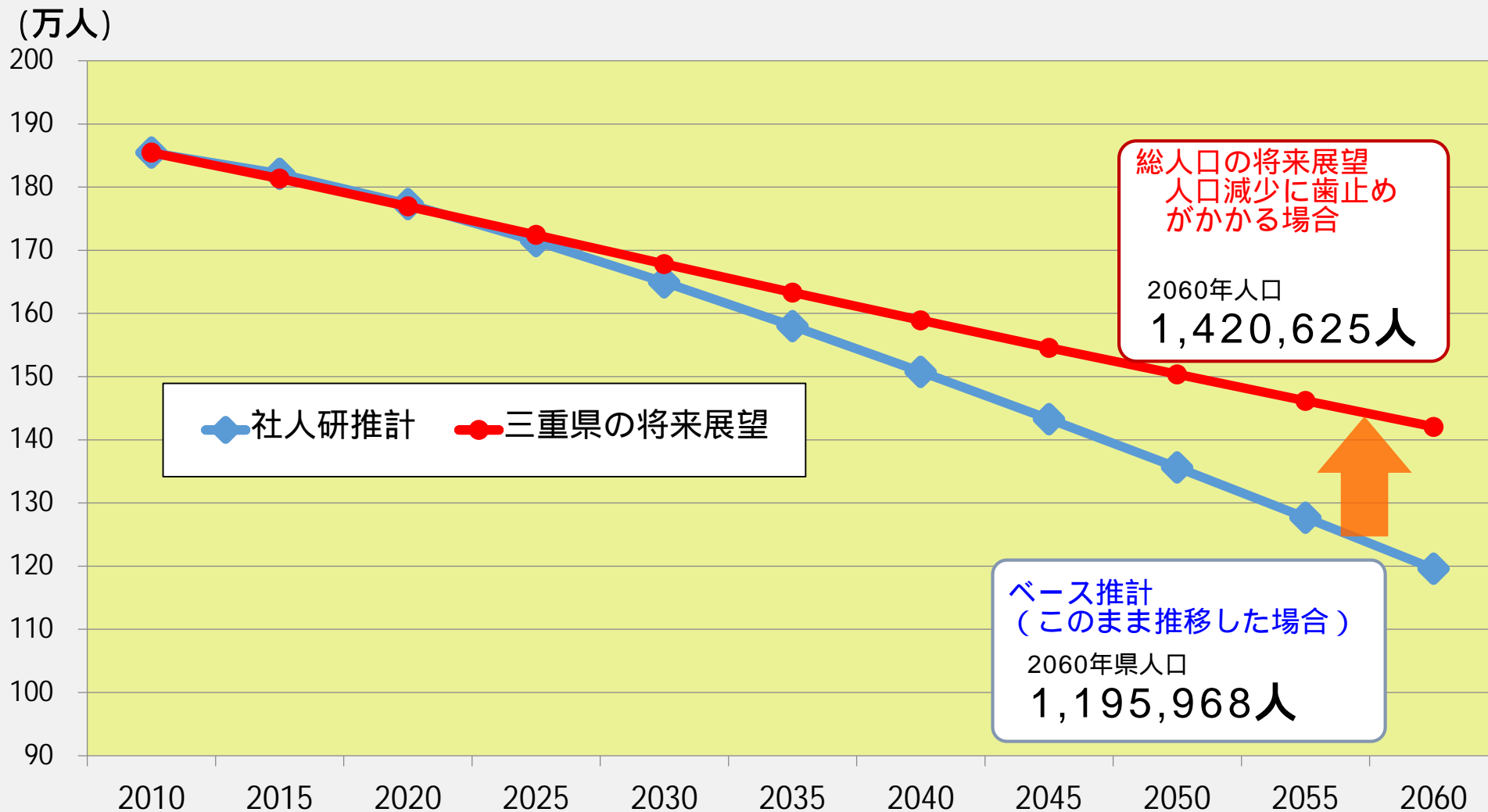
出典: 文部科学省「学校基本調査」

平成28年3月に県内大学を卒業した
学生のうち、県内企業に就職した
学生の割合



出典: 三重県作成

本県の将来人口のベース推計と将来展望



北中部地域と南部地域の人口の将来展望を合計し、2022年まで毎年度 280人ずつ、2023年から2035年まで毎年度80人ずつ
転出超過数を改善し現在3,000人の転出超過数を2035年(20年後)までに0にする(転出入を均衡させる)。

総合戦略の基本的な考え方

自然減対策

基本目標

結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重

数値目標

県の合計特殊出生率
おおむね10年後に希望出生率の **1.8台** へ

地域社会の見守りの中で、
子どもが元気に育っている
と感じる県民の割合
H36年度に **67.0%**

社会減対策

基本目標

「学びたい」
「働きたい」
「暮らし(続け)たい」
という希望がかない、
みんなが集う活気
あふれる三重

数値目標

県外への転出超過数
毎年280人改善し、
5年後に **1,600人** へ
(参考: H26 転出超過数 3,000人)

県外のさまざまな
人から選ばれ、
人々の交流が深まり、
豊かに暮らす
ことができる三重

希望が
かない、
選ばれる
三重

三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本的な取組方向とめざす姿

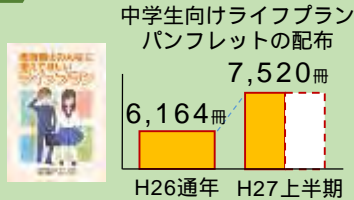
総合戦略では、「希望がない、選ばれる三重」をめざす姿とし、その実現に向けて、自然減対策及び社会減対策それぞれに目標を掲げ、車の両輪として推進！！

【自然減対策】

ライフステージ

ライフステージ1 子ども・思春期

- ・ライフプラン教育の推進
- ・子どもの貧困対策
- ・児童虐待の防止
- ・社会的擁護の推進



ライフステージ2 若者/結婚

- ・若者の雇用対策
- ・出逢いの支援

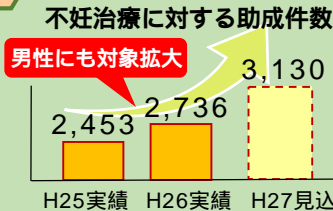


みえ出逢いサポートセンター設立 (H26.12) 以降、

カップル成立 **53**組
サポート企業 **117**社

ライフステージ3 妊娠・出産

- ・不妊に悩む家族への支援
- ・切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実
- ・周産期医療体制の充実と在宅での療養・療育支援



ライフステージ4 子育て

- ・保育・放課後児童対策などの子育て家庭の支援
- ・男性の育児参画の推進
- ・発達支援が必要な子どもへの対応

ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

大賞受賞者が政府広報のモデルに!

応募件数
H26: 387件
H27: 418件

【社会減対策】

ライフシーン

ライフシーン1 学ぶ

- ・若者の県内定着の促進
- ・子どもの能力の育成と人口減少に対応する教育体制の確保



ボーイング社、ANA社と連携した外国人講師による小学生向け航空セミナー

ライフシーン2 働く

- ・しごとの創出
- ・産業人材の育成
- ・働く場・働き方の質の向上



漁師塾（実技研修）

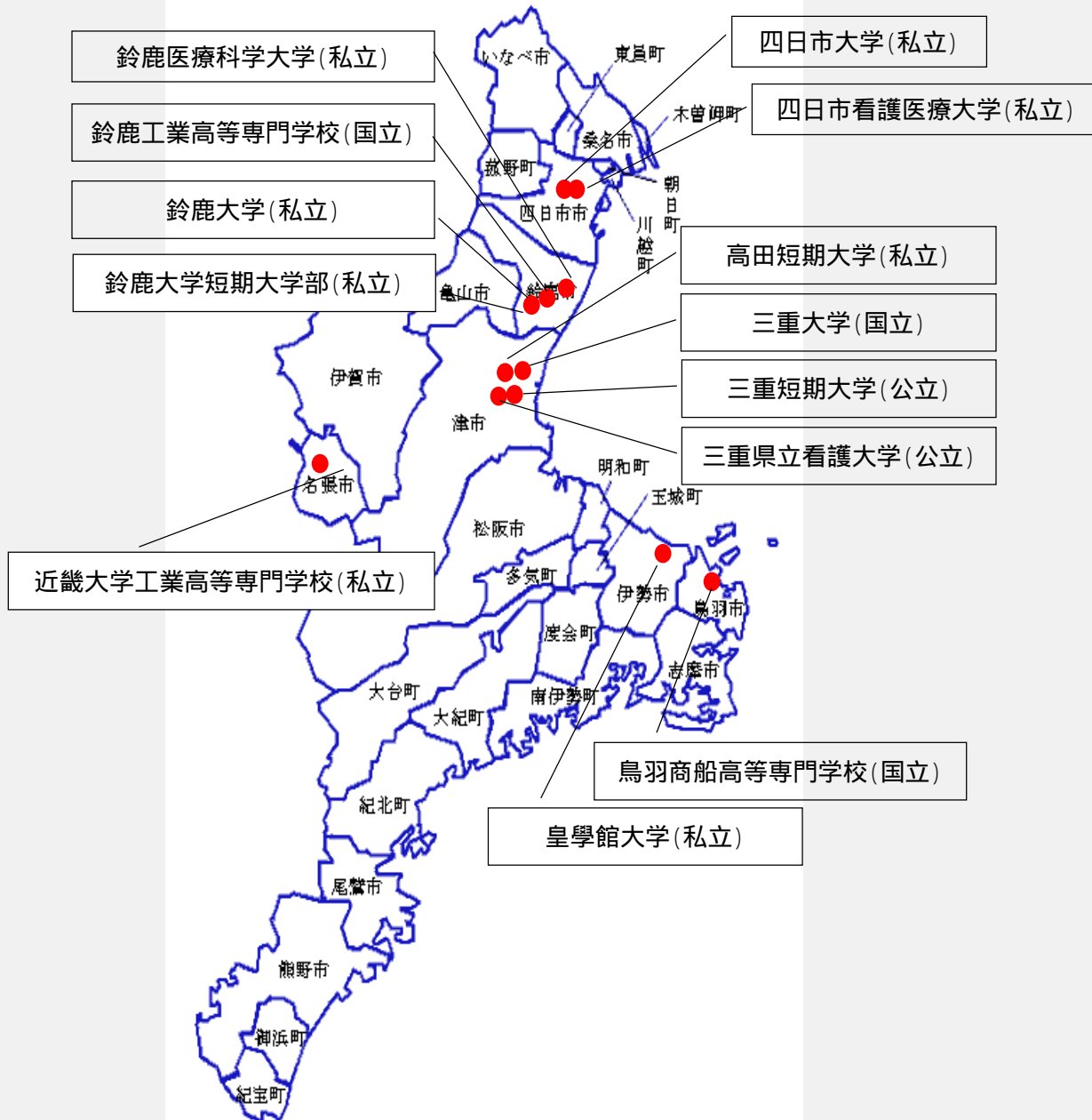
ライフシーン3 暮らす

- ・総合的な移住の促進
- ・暮らしの安全・安心確保
- ・いきいきと豊かに暮らせる地域づくり
- ・地域資源の活用による交流人口の拡大



移住促進に向けた情報発信

県内 13 高等教育機関の配置



大学	
国立	1
公立	1
私立	5
短期大学	
公立	1
私立	2
高等専門学校	
国立	2
私立	1

若者を地域に止め置く機能

研究成果を地域に
還元する機能

良質な雇用を創出する機能

教育機関として地域人材を
育成する機能

経済主体としての機能

地域の様々な主体の
ハブとなる機能

地方創生の実現に不可欠なものばかり!!

郷土教育の推進

高校生の地域活性化の取組への参画

学びの選択肢の拡大

県内高等教育機関の魅力向上・充実

奨学金を活用した若者の県内定着の促進

U・Iターン就職等の促進

キャリア教育を通じた県内定着の促進

アスリートの県内定着促進

南部地域市町への支援等

県内高等教育機関関連施策

高等教育コンソーシアムみえ・COC+

高等教育機関魅力向上支援補助金
(県版COC)

学生の地域活動の参画促進
「学生×地域活動」サポート情報局

地域と高等教育機関の魅力発信冊子
「みえコレッ！」

地域と若者の未来を拓く学生奨学金支援事業

KPI

県内高等教育機関卒業生の県内就職率
H26 49% → H31 59%

県内13の高等教育機関と県が参加し平成28年3月に創設

高等教育コンソーシアムみえ

【取組内容】

- ・学生の地域活動支援
- ・**地方創生に取り組む市町、地域の支援**

- ・FD・SD(教職員研修)
- ・教育プログラムの開発等
- ・県内就職の推進
- ・IR(統計情報の収集、分析、活用)

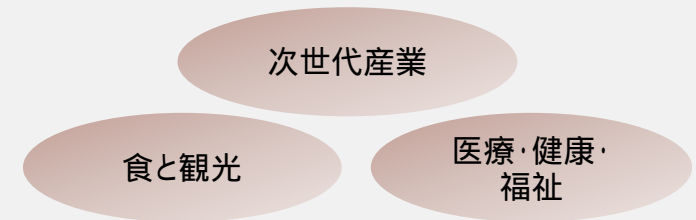
内の取組内容は、平成31年度までの4年間、主にCOC+の枠組みを活用して取組を推進



協定締結式(H28.3.29)

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

以下の3分野で活躍できる人材を育成する「三重創生ファンタジスタ」資格認定制度の創設や県内就職率10%向上に向けたインターンシップの充実などに取り組む。



キックオフ・シンポジウム(H28.1.23)



学生の確保や県内定着等に取り組む県内高等教育機関に対し助成
(助成率 10/10、限度額1千万円、3年間)

【平成28年度】 助成件数・助成総額：5件 46,730千円 うち新規 2件、20,000千円

三重大学

継続

長期就業体験の仕組み
(リアル・プロジェクト・
インターンシップ)の
構築など



鈴鹿医療科学大学

新規

多職種連携実践教育による
医療福祉人材の育成と県内
定着など



近畿大学工業高等専門学校

継続

理系女子にフォーカスした
学生確保、「近大高専」
ものづくり工房の設立と
県内中小企業との共同研究、
インターンシップの促進など



鈴鹿大学短期大学部

新規

「子育てイノベーション
センター(仮称)」を核
とした子育て・子育て支援
地域連携型システムの構築
など



高田短期大学

継続

女子サッカークラブ
「みえ高田FC」の創設による
アスリートの県内定着・地域
活性化、留学生介護福祉士の
養成など



県内の各高等教育機関の
魅力向上・差別化の取組を支援!!

地域活動に関心がある学生と課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチングを推進し、学生の地域への関心を深めることにより、県内定着につなげる

「学生×地域活動」サポート情報局が運営するマッチングサイト“ぴたゼミ”

三重をキャンパスとして、学生に“ぴたっ”とあう地域の活動を“ゼミ”として紹介し、将来役立つ社会経験や新たな学びを提供



“ぴたゼミ”ホームページ <https://www.pitazemi.jp>

地域活動の例



Event
南伊勢町宿田岩ロケットストーブプロジェクト



Seminar
地域マップ作成チーム員募集



Event
「2016大学生サミットin 三重(仮称)」ボランティアスタッフ募集



Seminar
若者と地域の協創推進事業「多気町熟和地域でのゆずを使った商品づくり」

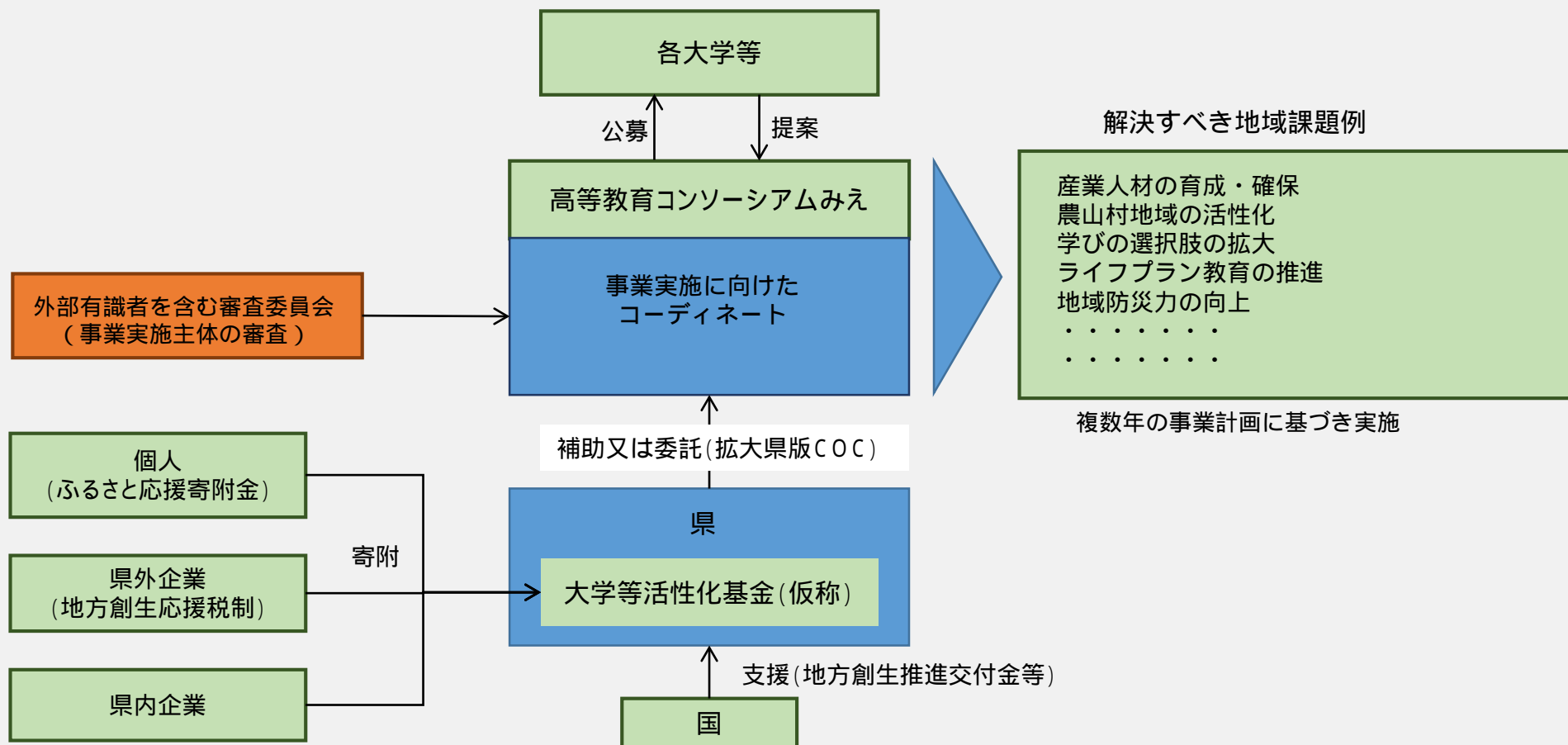


Event
飲酒運転0(ゼロ)をめざすキャンペーン

三重県と三重大学とは、地方創生に関するさまざまな分野で連携を進めており、これまで大きな成果を上げてきている。また、県は、三重大学をはじめ県内高等教育機関が地方創生の核になる重要な存在であることを踏まえ、その魅力向上・充実に取り組んでおり、徐々に成果が上がりつつある。県と大学等の連携による地域課題解決に向けた取組をさらに進めるため、安定的な財源の確保が必要である。

(財源確保のイメージ)

地方創生のための大学等活性化基金の創設と拡大県版COC事業



【地方創生応援税制を活用する上での課題】

現状では、事業内容を具体化させ、事業費を確定させた後、寄附先企業を一定確保した上でないと、地域再生計画が認められない。

プロジェクトを構成する各事業が明確に区分されていなければ、地方創生推進交付金等の国の財源が活用できない。

基金に積み立てる場合、基金総額の5割以内とする必要がある。

○県内大学の活性化に理解のある県内企業は対象外となっている。



これらの課題解決の先に…

大学の活性化から地方創生へ



ご清聴ありがとうございました！



©Mitsubishi Aircraft Corporation

